

2017年3月5日(日) 天候晴れ 北摂 太閤道 山の会例会主宰

参加者数 16名

コース距離: 8.6km 所要時間: 4時間52分(休憩含む)

コースタイム: JR島本(8:57)→(9:37)若山神社→(10:09)稜線→
→(10:47)島本展望所→(11:19)若山三角点→(11:27)北摂一番
【食事休憩】(12:22)→(12:35)分岐→(12:53)悠久の丘→
→(13:07)安満宮山古墳→(13:49)磐手橋

*山行軌跡



*行程グラフ



山行記：

J R 島本駅前を8時57分より歩き始めて若山台から若山神社へ入る所で衣服調整をしてもらい若山神社に9時37分到着する。

若山神社から太閤道ハイキングコースに入る、稜線に出るまでがこのコースできつい登りになると言っても20分程で稜線の大阪ゴルフ場前に着くことができる。

ここから尾根歩きでさほどアップダウンのない道を歩ける、10時47分このコース一番の展望が出来る島本展望所に到着、淀川の三川合流点が見下ろせる場所でもある、今日は霞が掛かってあまり遠くの方まで観る事が出来なかった。

展望所を後にして若山へ向かいコース上三角点が有るのは若山だけである三等三角点にタッチして握手を交わす。

11時27分北摂一番展望所に到着し食事休憩する、島本展望所よりも霞が掛かって展望が悪く辛うじて生駒山が肉眼で確認できる程度であったが、休憩中に少し霞が取れて生駒山山上の塔が確認できる程度までになると微かにあべのハルカスが肉眼で見られて幸いであった。

展望所を越えると下り坂になってきて分岐で左の道に入り悠久の丘側を下る、ハイキングコースの場合は分岐を右側に行き金龍寺跡に行くのが普通であるが参加してくれた方が初めてのコースに行く事にした。

悠久の丘から高槻公園墓地に係り安満宮山古墳に立ち寄る、古墳を掘り起こした状態をショーウィンドーの様にして見られるようにされている。

公園墓地の中を歩き新名神とアクセス道路を造られている現場を見ながら磐手橋バス停に13時49分到着しここからバスで高槻駅へ向かった。



若山神社の石段を登る





島本展望所より淀川三川合流点を望む

島本展望所にて



北摂一番展望所での食事休憩 と 枚方方面を望む



悠久の丘へ降り立つ



安満宮山古墳の入口



古墳の調査跡が残されている



高槻市街を望む（左の高いツインビルは駅前



新名神の工事現場